



SUBARU

すべての人々の多様な価値観を尊重しつつ、多様な市場価値を創出する事業を推進する。

SUBARUグループは、CSR重点6領域の一領域として「ダイバーシティ」を掲げて推進しています。



社員への啓発活動

SUBARUグループは人権方針において性別・性自認および表現・性的指向に関する差別を禁止しています。全従業員がLGBTの方を正しく理解するために、定期的なセミナーの実施や社内報での情報発信を行ってきました。当事者の置かれた状況の理解だけでなく、“Ally”の輪を広げるための取り組みを通年で実施しています。



同性パートナーも配偶者と等しく

2022年には同性パートナーにも福利厚生を適用する制度改定を行いました。配偶者に事実婚やパートナーも含んだことで、社宅・支援手当・休暇などの利用が可能となっています。

LGBT相談窓口



働きやすい職場づくり

風土面では2021年からは外部相談窓口を設置し、全従業員へカードを配布し周知してきました。社内呼称や健康保険証の変更、更衣室の配慮など相談者の要望に沿って対応しています。また当事者の方を中心に毎月の意見交換も実施しています。



ALLYを増やす取り組み

2022年にPRIDE指標において初のブロンズを認定を取得しました。2023年からは全国のプライドイベントへの協賛も開始し、有志で社内のアライにもご参加いただいています。